

第47回VE全国大会

# 日本VE協会会長 開会挨拶

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会  
会長

近藤 史朗



皆様おはようございます。2014年6月にVE協会の第5代会長を拝命しました近藤でございます。歴代会長を始め役員および会員の皆様のご尽力によりまして、50年近くに渡って発展してきたVE協会を束ねることとなり、責任の重さを痛感しております。

早速で恐縮ですが、私がVE協会の会長を引き受けた任期において目指したいことは、まず「VEの原点回帰」です。基本に立ち返ることこそが重要と考えております。次に「VEのマネージメントプロセス改革」です。自社のVE的なプロセス改革を強力に推し進めることが、顧客への提供価値を直接、間接に高めることにつながると考えております。三番目に、瀬口前会長が提唱された事業経営そのものがVEであるという「VE的経営の実践」です。さらに、「VEの新しい挑戦領域」も探索してまいりたいと考えております。微力ながらVEのさらなる普及と発展に努めたいと思っておりますので、皆様のご支援のほどを何卒よろしくお願い申し上げます。

お陰様で、今年も多くの方々から参加のお申し込みをいただきました。2日間でのべ800名という参加者が見込まれているようでございます。お忙しい中でのご参加、誠にありがとうございます。このように多くの方々からVEに関心を寄せていただき会場まで足を運んでくださるということは、VEに対する期待の表れであり、身の引き締まる思いであります。

今年も海外から多くのご参加をいただいております。アメリカ、ドイツ、中国、台湾、マレーシア、タイの6ヶ国からお越しいただいております。皆様、はるばる海外からお越しの方々を拍手でお迎えください。(拍手)

また、本日、栄えある「マイルズ賞・特別賞」ならびに「VE活動優秀賞」、「VE経営者賞」、「普及功労賞」を受賞される皆様、誠にありがとうございます。

ます。VEの実践、活用、そして普及にとご尽力いただいておりますことに感謝申し上げますとともに、心よりお慶び申し上げます。

そして、本大会の開催に当り、ご後援いただきました各団体の皆様、企画・運営にあたりご支援、ご協力いただきました多くの皆様方にも、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、今年の大会テーマは『今こそVE力、カイゼン力、チーム力』ということでございます。

後ほど、三好実行委員長からご紹介があると思いますが、経営改革から日頃の業務改善まで活用が広がっている「VEの多様性」にスポットをあけるとともに、「VEとは何か」という本質的な部分にも踏み込んでいこうというものでございます。

三菱電機の三好さんを始めとする関係者の皆さんがアイデアを出し合い、『参加して良かった』『手伝って良かった』と思っただけのような大会を目指し、およそ半年間の年月をかけて企画を練り上げ、今日まで熱心に準備を進めていただきました。

特に今年は、「これからのVE」を模索するとともに、VEの特徴でもある「チーム・デザイン」にこだわって企画を進めたと伺っております。

示唆に富んだ講演のほか、自社の活動に応用いただくための実践事例や研究論文など、今年も多彩なプログラムが組まれており、それぞれの職場で活かせる「ヒント」や「気付き」が数多く得られるものと思います。本大会で得られたことや出会いが今後の活動推進の原動力となれば、主催者としてこれほど嬉しいことはございません。

今年も盛りだくさんのプログラムになっております。ご参加の皆様と運営に携わる皆様が一体となって、熱気のある、実りのある大会にしていきたいと思っております。2日間、よろしくお願い申し上げます。(拍手)